

民間保育園の新設

ホール保育の解消、子育て支援センターの設置などを目的として進めてきた民間保育園の新設について、設置・運営主体となる社会福祉法人を公募した結果、2法人から応募がありました。

選定委員会において、提案内容や法人の運営状況を審査し、その答申に基づき、2月8日に、社会福祉法人交友会を設置運営事業者に決定しました。

同法人は、岡山市東区益野町にある「ちとせ保育園」を含めて3園を設置・運営しています。

提案内容は、JR赤穂線長船駅前の約1,800平方メートルの土地を同法人が購入し、80人定員の保育園を開園するというもので、開園予定は、平成23年4月となっています。

戸別所得補償制度モデル対策

国は、水田農業の経営を安定さ

せ、食料自給率向上の環境整備を図ることを目的として、平成23年度から戸別所得補償制度を本格実施することとしています。

これを踏まえ、水田をフルに活用し、麦、大豆、飼料作物などの生産を拡大するとともに食料自給率向上を目指す「水田利活用自給力向上事業」と、主食用米の標準的生産費と販売価格の差額を全国一律単価として交付する「米戸別所得補償モデル事業」の2つの事業がセットで実施されます。

本市においても、いまだに制度に不透明感があるものの、県、JAなど関係機関と連携を取りながら、これらの対策が円滑に実施されるよう農家への周知を徹底し、水田の有効利用による食料自給率の向上と合わせて遊休農地の解消にも努めたいと考えています。

市道南北線道路新設事業

国庫補助事業の地域再生基盤強化事業で実施している市道南北線道路新設事業は、平成18年度に事



工事が進む市道南北線道路新設事業

業着手し、4年が経過しました。

平成22年度からは、切土、盛土などの土工事が完了している区間から順次舗装工事へ着手し、年度末（平成23年3月）の全線供用開始を目指しています。

また、市道南北線に接続する宮下線、北池線、山田庄山手2号線の3路線も工事は順調に進捗しており、平成22年度に土木工事および舗装工事を行い、南北線同様、年度末（平成23年3月）の完成を目指して工事を進めていきます。

市道長船線は、第二の場踏切の拡幅工事をJRに委託し、2月上旬に完成しており、現在は2車線となっています。

美作市が集中豪雨・竜巻の自然災害により大被害を受けています。

大地震など今後さまざまな災害に対応できる消防体制の構築が求められています。こうした状況を踏まえ、消防団組織の充実のため1月1日付けで本部員の登用、また新たに女性消防団員の入団を行っていきます。

これからも、「安全・安心のまちづくり」のため、消防団をはじめ市民や関係機関など幅広い地域社会と連携し、そして関係部局とも連絡をとりながら自主防災組織の育成に努め、総合的な消防体制の強化を図っていきます。

新病院の建設と診療機能の強化

昨年11月に実施した「市民病院及び牛窓診療所に関するアンケート」調査結果によると、市民病院および牛窓診療所の診療機能について、「充実してほしい」と答えた人と、「維持してほしい」と答えた人を合わせると53・7%で、半数を超えており、多くの人が、

上水道事業

建設改良事業として、平成23年度までに石綿管を布設替えの予定で取り組んでおり、平成22年度も邑久町下笠加、尾張、豊原、本庄地内および長船地域では、下水道工事に伴う支障移動部分を改良する予定で、残存石綿管約3・1キロメートルのうち約1・7キロメートルの布設替工事をを行います。

また、牛窓町長浜、邑久町山田庄および長船町服部地内などの公共下水道事業に伴う配水管布設替工事などを予定しています。

この他にも、将来想定される地震に対する対策として、浄水場の耐震補強委託業務および各地域の重要施設である主要配水池の耐震診断を予定しています。

市では、水道施設は、浄水場をはじめとした施設の修繕や更新に多額の費用を要することを踏まえ、将来にわたって「安全・安心な活力ある水道水」を供給していくという目標の指針として、平成21年3月に「瀬戸内市水道ビジョン」を策定しました。しかし、老

市民病院および牛窓診療所の診療機能の充実、維持を望んでいるという結果となっています。

また、市民病院の建替えについては、「建替えすべき」が36・6%で、「建替えはせず、いずれ閉鎖」が14・6%、「早急に閉鎖すべき」が5・0%で、建替えを望む声が、「建替えはせず、いずれ閉鎖」と「早急に閉鎖」を合わせた数の約2倍近い数となっています。

こうした結果を踏まえ、今後、瀬戸内市民病院について新病院の建設を進めることとし、平成22年度中に基本構想を取りまとめたいと考えています。

なお、新病院建設の財源については、合併特例債を活用するなど、できるだけ市の財政負担を軽減することとします。運営の在り方についても、今後、さまざまな運営形態を研究していきます。

さらに、新病院の建設に向けて、診療を受けられる皆さんのサービスの向上と、診療機能の強化を図るため、電子カルテの導入による診療情報のIT化や、病院機能評価を受けするなど、診療システムの改善にも取り組んでいきます。

朽化施設、災害時に脆弱な施設に対する更新および耐震化、配水システムの構築などの課題に対応する必要がありますことから、新たに水道事業基本計画の策定を予定しています。

公共下水道事業

下水処理施設の整備を効率的かつ適正に進めるため、集合処理区域と浄化槽による個別処理エリアの設定を行っています。これに基づき、合併浄化槽の補助金の増額なども視野に入れて、今後の下水道整備計画を市民の皆さんに理解していただけるように検討します。

また、現在完成している浄化センターの稼働効率を上げるために、供用開始エリア内の接続率アップを図るようパンフレット、広報紙、ホームページなどでPRに努めたいと考えています。

工事については、引き続き長船中央浄化センターの汚泥処理設備工事を行うほか、面整備については、牛窓町長浜地内、邑久町山田庄地内、長船町服部地内の管渠整

防災体制

昨年は本市における大規模災害は発生していませんが、県内では、